

JPMワールド・CB・オープン

第 47 期 運用報告書（全体版）

（決算日：2025年1月30日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPMワールド・CB・オープン」は、去る1月30日に第47期の決算を行いました。

当ファンドは世界各国の転換社債(CB)を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的とします。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(転換社債)	
信託期間	無期限です。	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて世界各国の転換社債(CB)を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の転換社債(CB)を主要投資対象とします。
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。 外貨建資産への実質投資には、制限を設けません。 また株式への実質投資割合は純資産総額の30%以下とします。
	マザーファンド	転換社債(CB)への投資にあたっては、投資地域分散をはかりながら、価格水準、株価との連動性等の投資効率、発行企業の成長性および安定性等を総合的に分析し、魅力的な銘柄を選定します。加えて弾力的に為替ヘッジを行うことにより、主として為替変動による基準価額の下落リスクを軽減させることを目指します。 株式(ワラントを含みます。)への投資割合は、ファンドの純資産総額の30%以下とします。同一銘柄の株式への投資割合は、取得時においてファンドの純資産総額の10%以下とします。同一銘柄のCBへの投資割合は、ファンドの純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分配方針	毎年2回(原則として1月30日、7月30日)決算日に基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド」は「ワールド・CB・オープン・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

ホームページアドレス am.jpmorgan.com/jp

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優 先 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額 総 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 騰 落 率		期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
43期(2023年1月30日)	7,552	30	△1.2	41,727	1.5	88.6	5.6	13,075
44期(2023年7月31日)	7,869	20	4.5	47,026	12.7	94.6	1.9	13,456
45期(2024年1月30日)	7,769	30	△0.9	49,775	5.8	95.8	2.3	12,534
46期(2024年7月30日)	7,742	20	△0.1	53,796	8.1	92.4	2.9	11,797
47期(2025年1月30日)	7,970	30	3.3	59,246	10.1	95.9	1.2	11,095

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。
(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません。(以下同じ)。
(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。
(注) FTSEグローバルCBインデックスは、Refinitiv(「リフィニティブ」)が発表しており、著作権はリフィニティブに帰属しております。FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したFTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。(以下同じ)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優 先 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首)	円	%		%	%	%
2024年7月30日	7,742	—	53,796	—	92.4	2.9
7月末	7,701	△0.5	53,903	0.2	91.6	2.9
8月末	7,630	△1.4	51,884	△3.6	94.1	2.5
9月末	7,736	△0.1	52,743	△2.0	94.8	2.5
10月末	7,905	2.1	56,693	5.4	97.8	2.3
11月末	7,915	2.2	58,142	8.1	92.7	2.0
12月末	7,991	3.2	59,160	10.0	95.6	2.0
(期 末)						
2025年1月30日	8,000	3.3	59,246	10.1	95.9	1.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。
(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

投資環境

◎CB市況

世界のCB市場動向を表わすFTSEグローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で上昇しました。各国・地域のCBインデックスでは、全ての地域(アジア(除く日本、米ドルベース)、欧州(ユーロベース)、米国(米ドルベース)、日本(円ベース))が、前期末比で上昇しました。

- ◆米大統領選挙の先行き不透明感や半導体規制への懸念が重石となったほか、軟調な米雇用統計などを受けて、市場では急速に景気減速が織り込まれ、急落しました。
- ◆その後は、FRB(米連邦準備制度理事会)による利下げ見通しの不透明感や世界的な貿易摩擦への懸念などを受けて、市場の変動性が高まる局面もあったものの、米国を中心に企業業績が底堅いことに加えて、米新政権への期待感などから、概ね堅調に推移しました。

◎為替市況

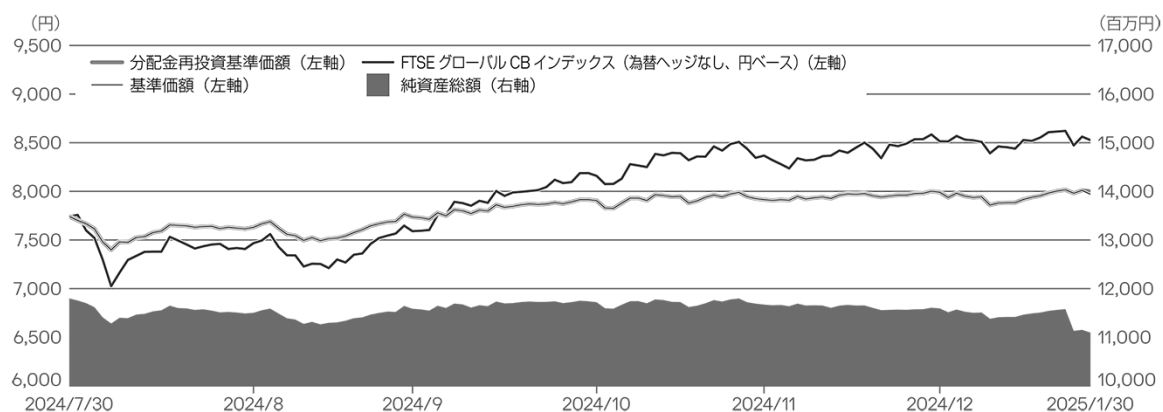
為替市場では、当期において米ドルは対円で小幅に上昇し、ユーロは対円で下落しました。日銀の追加利上げや軟調な米雇用統計を受けて、急速に米ドル、ユーロ共に対円で急落した局面もあったものの、米長期金利、欧州圏の長期金利が上昇したことを受けて米ドル、ユーロ共に対円で概ね上昇基調で推移しました。

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

○当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+3.3%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+4.8%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額およびFTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、ユーロなどの投資通貨が対円で下落したことなどは基準価額を押し下げた要因となった一方で、保有有価証券の売却益などが基準価額を押し上げました。

◎ポートフォリオについて

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

セクター別では、消費財(景気循環)やコミュニケーションセクターなどがプラスに寄与したものの、基礎素材セクターなどのパフォーマンスが振るいませんでした。各国・地域別では、北米や欧州などへの投資はパフォーマンスにプラスに寄与しました。マイナスに寄与した地域はありませんでした。

◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は30円(税込)としました。留保益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込)

項 目	第47期
	2024年7月31日～ 2025年1月30日
当期分配金	30
(対基準価額比率)	0.375%
当期の収益	28
当期の収益以外	1
翌期繰越分配対象額	58

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆2025年におけるグローバル株式の見通しは、経済状況、市場の変化、地政学的要因の複雑な相互作用によって形作られており、一部不透明感が残っています。引き続きテクノロジーの進展や新興市場の成長、産業全体の構造変化が見られる中、投資家はより慎重な投資が求められ、企業レベルでの分析や銘柄選択の重要性が高まっています。2025年も企業利益の成長が見込まれており、今後は大型テクノロジー株式への過度な集中は一服し、より広範なセクター、銘柄に新たな収益機会が生まれることが示唆されています。
- ◆景気後退リスクに対する懸念は残るものの、米国経済は安定しており、依然としてインフレ低下と利下げを伴うソフトランディング(経済の軟着陸)を見込んでいます。しかし、米国外の経済状況はまちまちです。2025年は利益の面で引き続き強い見通しです。トランプ氏の再選により、米国内外に対する政策や他地域が米政策に応じて実施する政策については不確実性が高まっています。また、企業や産業ごとに異なるトレンドが見られます。例えば、半導体業界ではAI(人工知能)関連の支出が急増している一方で、自動車などの需要は低調です。地域ごとに見ると、新興市場、とりわけ中国のマクロ環境は複雑で、経済見通しが低調である一方で、最近の刺激策による上昇が見られるなど、先行きが不透明です。中国においては、企業業績の予測には不透明感が残る一方で、一部では株主還元姿勢の改善も見られることから、クオリティが高い株式が魅力的だと見えています。
- ◆CBは様々な理由から投資妙味が高い資産と考えます。第一に、最近の金利上昇、地政学的な緊張、インフレの高まりによる市場の変動性の高まりなどを背景とした資産クラスの割安感から、新規投資の好機となっています。第二に、CBは債券の特性により下落率が抑制される傾向にあることに加え、一般的な債券よりもスプレッドが大きく、デュレーションも短くなっています。また、CBにはオプション(株式に転換しうる権利)が組み入れられているため、デュレーション・リスクが大幅に低減されます。金利が上昇すると、債券部分は低下しますが、オプション部分の評価が上昇します。

◎今後の運用方針

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

○マザーファンド

世界各国のCBを主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2024年7月31日～2025年1月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	65	0.832	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(30)	(0.388)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
（ 販 売 会 社 ）	(30)	(0.388)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.055)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{〔期中の売買委託手数料〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$
（ 優 先 証 券 ）	(0)	(0.001)	有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{〔期中の売買委託取引税〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$
（ 優 先 証 券 ）	(0)	(0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	4	0.050	(d) その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.032)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.007)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	69	0.883	
期中の平均基準価額は、7,813円です。			

(注) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

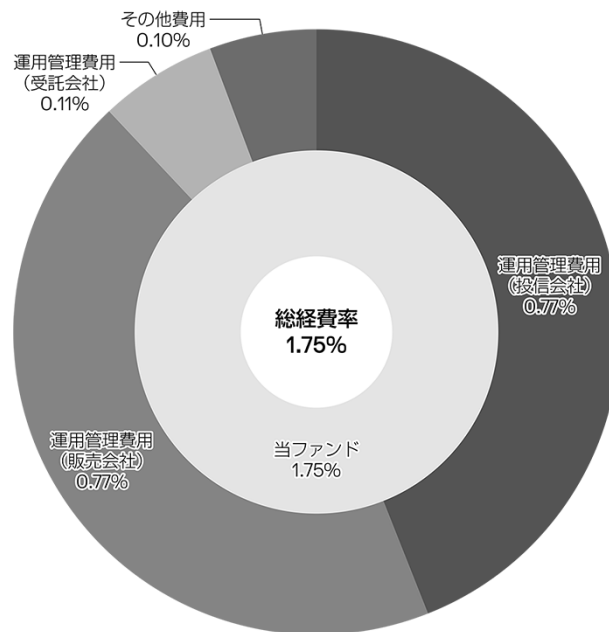
(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況 (2024年7月31日～2025年1月30日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	205,077	937,175	426,348	2,044,721

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等 (2024年7月31日～2025年1月30日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年7月31日～2025年1月30日)

該当事項はございません。

○ 自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年7月31日～2025年1月30日)

該当事項はございません。

○ 組入資産の明細

(2025年1月30日現在)

親投資信託残高			
銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	2,484,855	2,263,583	11,149,055

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○ 投資信託財産の構成

(2025年1月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	11,149,055	99.0
コール・ローン等、その他	112,797	1.0
投資信託財産総額	11,261,852	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) ワールド・CB・オープン・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(9,837,318千円)の投資信託財産総額(11,170,256千円)に対する比率は88.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル＝154.76円、1ユーロ＝161.34円、1英ポンド＝192.71円、1スイスフラン＝170.76円、1スウェーデンクローネ＝14.08円、1ノルウェークローネ＝13.72円、1オーストラリアドル＝96.52円、1香港ドル＝19.86円、1シンガポールドル＝114.66円、1南アフリカランド＝8.34円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月30日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	18,374,721,459
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券(評価額)	11,149,055,889
未収入金	7,225,665,570
(B) 負債	7,278,915,668
未払金	7,118,427,903
未払収益分配金	41,765,175
未払解約金	21,129,722
未払信託報酬	96,308,811
その他未払費用	1,284,057
(C) 純資産総額(A－B)	11,095,805,791
元本	13,921,725,102
次期繰越損益金	△ 2,825,919,311
(D) 受益権総口数	13,921,725,102口
1万口当たり基準価額(C／D)	7,970円

<注記事項>	
期首元本額	15,238,040,606円
期中追加設定元本額	229,012,307円
期中一部解約元本額	1,545,327,811円
当期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。	
未払受託者報酬	6,420,593円
未払委託者報酬	89,888,218円

○損益の状況 (2024年7月31日～2025年1月30日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	455,452,938
売買益	1,618,749,610
売買損	△1,163,296,672
(B) 信託報酬等	△ 98,131,359
(C) 当期損益金(A＋B)	357,321,579
(D) 前期繰越損益金	△1,613,814,878
(E) 追加信託差損益金	△1,527,660,837
(配当等相当額)	(82,563,580)
(売買損益相当額)	(△1,610,224,417)
(F) 計(C＋D＋E)	△2,784,154,136
(G) 収益分配金	△ 41,765,175
次期繰越損益金(F＋G)	△2,825,919,311
追加信託差損益金	△1,529,348,187
(配当等相当額)	(80,989,766)
(売買損益相当額)	(△1,610,337,953)
繰越損益金	△1,296,571,124

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。	
(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。	
(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。	
(注) 信託財産の運用の指図に関する権限を委託するために要する費用として、純資産総額に年率0.35%を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しています。	
(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(40,077,825円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(82,677,116円)より分配対象収益は122,754,941円(10,000口当たり88円)であり、うち41,765,175円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。	
(注) 当期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。	
受託者報酬	6,420,593円
委託者報酬	89,888,218円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	30円
----------------	-----

課税上の取扱いについて ●普通分配金に対して、個人の受益者については、配当所得として20.315%(所得税および復興特別所得税15.315%、ならびに地方税5%)の税率で課税されます。なお、外国税額控除の適用となった場合、分配時の税金が前記と異なる場合があります。法人の受益者の場合、前記とは異なります。元本払戻金(特別分配金)は課税されません。 ※上記は2025年1月末現在適用されているものです。税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になる場合があります。詳しくは税務専門家(税務署等)にお問い合わせください。
--

GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド

第 24 期 運用報告書

(決算日: 2025年1月30日)
(計算期間: 2024年1月31日～2025年1月30日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第24期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
運 用 方 針	世界各国の転換社債(CB)を中心に投資し、信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の転換社債(CB)を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資には制限を設けません。また、株式への投資割合は純資産総額の30%以下とします。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド」は「ワールド・CB・オープン・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)		FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	優 先 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	騰 落	率	騰 落	率			
	円	%		%	%	%	百万円
20期(2021年2月1日)	41,077	29.6	39,153	28.1	80.8	4.2	15,086
21期(2022年1月31日)	40,067	△ 2.5	39,627	1.2	89.4	6.1	11,033
22期(2023年1月30日)	39,188	△ 2.2	41,727	5.3	88.6	5.6	13,078
23期(2024年1月30日)	45,163	15.2	49,775	19.3	93.9	2.2	12,781
24期(2025年1月30日)	49,254	9.1	59,246	19.0	95.4	1.2	11,149

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません。(以下同じ)。

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

(注) FTSEグローバルCBインデックスは、Refinitiv(「リフィニティブ」)が発表しており、著作権はリフィニティブに帰属しております。FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したFTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。(以下同じ)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	優 先 証 券 組 入 比 率
	騰 落	率	騰 落	率		
(期 首) 2024年1月30日	円	%		%	%	%
	45,163	—	49,775	—	93.9	2.2
1 月末	45,210	0.1	49,762	△ 0.0	94.8	2.3
2 月末	46,256	2.4	51,097	2.7	91.7	2.2
3 月末	47,127	4.3	52,418	5.3	92.8	2.4
4 月末	47,687	5.6	53,114	6.7	93.3	2.6
5 月末	47,818	5.9	53,925	8.3	93.3	2.9
6 月末	49,003	8.5	55,493	11.5	91.7	2.9
7 月末	46,497	3.0	53,903	8.3	94.1	3.0
8 月末	45,170	0.0	51,884	4.2	94.4	2.5
9 月末	45,681	1.1	52,743	6.0	94.4	2.4
10 月末	48,330	7.0	56,693	13.9	95.7	2.2
11 月末	47,882	6.0	58,142	16.8	93.4	2.0
12 月末	49,576	9.8	59,160	18.9	92.7	1.9
(期 末) 2025年1月30日	49,254	9.1	59,246	19.0	95.4	1.2

(注) 騰落率は期首比です。

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

投資環境

◎CB市況

世界のCB市場動向を表わすFTSEグローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で上昇しました。各国・地域のCBインデックスでは、全ての地域(アジア(除く日本、米ドルベース)、欧州(ユーロベース)、米国(米ドルベース)、日本(円ベース))が、前期末比で上昇しました。

- ◆期首から3月にかけては、堅調な米経済指標や企業決算を受けて、ソフトランディング(経済の軟着陸)への期待が高まり、上昇基調で推移しました。また、中国の旧正月連休中の消費支出が予想を上回る水準となり投資家心理が改善したことも、支援材料となりました。
- ◆4月は中東情勢の緊迫化や、インフレ指標の上振れを受けてFRB(米連邦準備制度理事会)の利下げ期待が後退したことなどから、一時的に下落しました。しかし、その後7月半ばにかけては、一部経済指標が軟化したことなどを背景に、2024年後半の利下げ観測が高まり、概ね良好な企業決算にも支えられて、再び上昇基調で推移しました。
- ◆8月上旬にかけては、米大統領選挙の先行き不透明感や半導体規制への懸念が重石となったほか、軟調な米雇用統計などを受けて、市場では急速に景気減速が織り込まれ、急落しました。
- ◆その後は、FRBによる利下げ見通しの不透明感や世界的な貿易摩擦への懸念などを受けて、市場の変動性が高まる局面もあったものの、米国を中心に企業業績が底堅いことに加えて、米新政権への期待感などから、概ね堅調に推移しました。

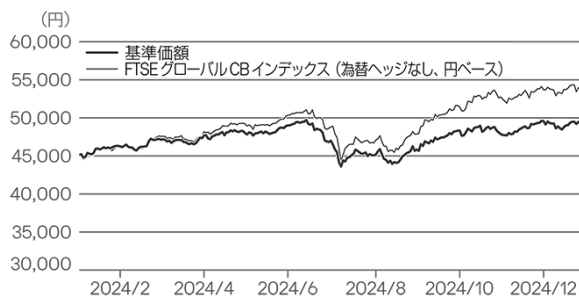
◎為替市況

為替市場では、当期において米ドル、ユーロともに対円で上昇しました。期首から7月上旬にかけては日銀がマイナス金利政策を解除した一方で、FRBは金融政策を維持する中で、米ドル、ユーロともに対円で上昇しました。その後は日銀の追加利上げや軟調な米雇用統計を受けて、急速に米ドル、ユーロ共に対円で急落した局面もあったものの、米長期金利、欧州圏の長期金利が上昇したことを受けて米ドル、ユーロ共に対円で概ね上昇基調で推移しました。

運用経過の説明

◎基準価額の推移

基準価額の騰落率は+9.1%となりました。



(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の変動要因

投資通貨が対円で上昇したことや、保有有価証券の売却益などが基準価額を押し上げました。

◎ポートフォリオについて

セクター別では、消費財（景気循環）やコミュニケーションセクターなどがプラスに寄与したものの、消費財（生活必需品）やテクノロジーセクターなどのパフォーマンスが振るいませんでした。各国・地域別では、北米や欧州などへの投資はパフォーマンスにプラスに寄与しました。マイナスに寄与した地域はありませんでした。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆2025年におけるグローバル株式の見通しは、経済状況、市場の変化、地政学的要因の複雑な相互作用によって形作られており、一部不透明感が残っています。引き続きテクノロジーの進展や新興市場の成長、産業全体の構造変化が見られる中、投資家はより慎重な投資が求められ、企業レベルでの分析や銘柄選択の重要性が高まっています。2025年も企業利益の成長が見込まれており、今後は大型テクノロジー株式への過度な集中は一服し、より広範なセクター、銘柄に新たな収益機会が生まれることが示唆されています。
- ◆景気後退リスクに対する懸念は残るものの、米国経済は安定しており、依然としてインフレ低下と利下げを伴うソフトランディングを見込んでいます。しかし、米国外の経済状況はまちまちです。2025年は利益の面で引き続き強い見通しです。トランプ氏の再選により、米国内外に対する政策や他地域が米政策に応じて実施する政策については不確実性が高まっています。また、企業や産業ごとに異なるトレンドが見られます。例えば、半導体業界ではAI（人工知能）関連の支出が急増している一方で、自動車などの需要は低調です。地域ごとに見ると、新興市場、とりわけ中国のマクロ環境は複雑で、経済見通しが低調である一方で、最近の刺激策による上昇が見られるなど、先行きが不透明です。中国においては、企業業績の予測には不透明感が残る一方で、一部では株主還元姿勢の改善も見られることから、クオリティが高い株式が魅力的だと見ています。
- ◆CBは様々な理由から投資妙味が高い資産と考えます。第一に、最近の金利上昇、地政学的な緊張、インフレの高まりによる市場の変動性の高まりなどを背景とした資産クラスの割安感から、新規投資の好機となっています。第二に、CBは債券の特性により下落率が抑制される傾向にあることに加え、一般的な債券よりもスプレッドが大きく、デュレーションも短くなっています。また、CBにはオプション（株式に転換しうる権利）が組み入れられているため、デュレーション・リスクが大幅に低減されます。金利が上昇すると、債券部分は低下しますが、オプション部分の評価が上昇します。

◎今後の運用方針

世界各国のCBを主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2024年1月31日～2025年1月30日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.001
(優 先 証 券)	(0)	(0.001)
(b) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000
(優 先 証 券)	(0)	(0.000)
(c) そ の 他 費 用	31	0.066
(保 管 費 用)	(24)	(0.050)
(そ の 他)	(7)	(0.016)
合 計	31	0.067
期中の平均基準価額は、47,186円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。
(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。
(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況 (2024年1月31日～2025年1月30日)

新株予約権付社債(転換社債)

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
国内		千円	千円	千円	千円
		930,000	969,247	690,000	771,932
外国	アメリカ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
		26,889	29,427	24,302	29,470
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	2,100	2,235	1,800	1,772
	フランス	4,395	5,162	7,848	10,109
	その他	1,800	1,869	10,200 (1,300)	10,568 (1,300)
	香港	千香港ドル —	千香港ドル —	千香港ドル 4,000	千香港ドル 4,590
	シンガポール	千シンガポールドル —	千シンガポールドル —	千シンガポールドル 250	千シンガポールドル 301

(注) 金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません)。なお、単位未満は切捨てです。
(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。
(注) 下段に()がある場合は権利行使、予約権行使、償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

優先証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外国	アメリカ	百証券 —	千米ドル —	百証券 301	千米ドル 1,270

(注) 金額は受渡し代金です。なお、単位未満は切捨てです。
(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

○利害関係人との取引状況等

(2024年1月31日～2025年1月30日)

利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
	百万円	百万円	百万円
新株予約権付社債(転換社債)	—	317	—

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とはJPモルガン・チェース銀行です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2024年1月31日～2025年1月30日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年1月30日現在)

下記は、ワールド・CB・オープン・マザーファンド全体(2,263,583千円)の内容です。

国内新株予約権付社債(転換社債)

銘 柄	当 期 末	
	額 面 金 額	評 価 額
	千円	千円
レゾナック ホールディングス 0% CB	110,000	122,103
イビデン 0% MAR31 CB	70,000	68,355
関西ペイント 0% MAR31 CB	90,000	91,278
JFEホールディングス 0% SEP28 CB	60,000	59,100
ダイフク 0% SEP28 CB	120,000	136,639
太陽誘電 0% OCT30 CB	80,000	77,254
サンリオ 0% DEC28 CB	60,000	136,661
高島屋 0% DEC28 CB	170,000	218,261
SBIホールディングス 0% JUL31 CB	210,000	237,106
ANAホールディングス 0% DEC31 CB	120,000	130,881
合 計	1,090,000	1,277,642
額 面 ・ 金 額		
銘 柄 数 < 比 率 >	10	<11.5%>

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

外国新株予約権付社債(転換社債)

銘柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	
	外貨建金額	邦貨換算金額	
	千円ドル	千円ドル	千円
(アメリカ)			
AKAMAI TECH 0.125% CB	1,048	1,142	176,753
SOUTHWEST 1.25% CB	468	471	73,001
BOOKING HLDGS 0.75% CB	369	926	143,348
ZILLOW GRP 2.75% CB	939	1,175	181,852
FIVE9 0.5% CB	1,645	1,618	250,412
ZSCALER 0.125% CB	383	520	80,484
MIDDLEBY CORP 1% CB	536	716	110,934
SHOPIFY 0.125% CB	720	752	116,422
DEXCOM 0.25% CB	1,940	1,880	290,957
SEA 2.375% CB	550	760	117,657
UBER TECHNOLOGIES 0% CB	1,951	2,028	314,002
SOUTHERN CO 3.875% CB	1,774	1,861	288,032
AIRBNB 0% CB	519	490	75,834
SPOTIFY 0% CB	607	712	110,211
FORD MOTOR 0% CB	1,112	1,086	168,098
ITRON 0% CB	368	379	58,669
TYLER TECH 0.25% CB	242	305	47,336
COINBASE GLOBAL 0.5% CB	885	980	151,747
JAZZ 2% CB	400	408	63,247
AMERICAN WATER 3.625% CB	774	764	118,363
HON HAI PREC 0% CB	400	438	67,786
CENTERPOINT NRG 4.25% CB	757	777	120,359
INSULET 0.375% CB	626	822	127,362
ETSY 0.125% CB	480	468	72,491
GOLDMAN SACHS 0% 700 EB	300	354	54,876
ON SEMICOND 0% CB	802	955	147,826
GOLDMAN SACHS 0% 1MTN EB	1,400	1,496	231,657
BIOMARIN PHARM 1.25% CB	475	443	68,623
TRIP.COM GROUP 1.5% EB	742	806	124,810
STMICRO 0% B CB	1,600	1,496	231,652
AKAMAI TECH 0.375% CB	361	373	57,799
SAREPTATHERAPEU 1.25% CB	503	542	83,923
ALNYLAM PHARMACE 1% CB	749	866	134,108
NUTANIX INC 0.25% CB	725	942	145,881

銘柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	
	外貨建金額	邦貨換算金額	
	千円ドル	千円ドル	千円
CARNIVAL CORP 5.75% CB	157	347	53,764
PG&E 4.25% CB	697	710	109,992
XIAOMI BEST TIME 0% CB	600	712	110,211
EXACT SCIENCES 0.375% CB	1,673	1,487	230,199
DROPBOX 0% CB	1,274	1,362	210,900
CMS ENERGY 3.375% CB	915	944	146,160
SEAGATE HDD CAYM 3.5% CB	565	745	115,450
IONIS PHARMACEUT1.75% CB	224	217	33,627
HALOZYME 1% CB	690	811	125,579
LIVE NATION 3.125% CB	731	1,069	165,502
BARCLAYS BK 1% MSFT EB	1,709	1,730	267,769
PING ANINSURANCE0.875%CB	600	695	107,637
LENOVO GRP 2.5% CB	400	498	77,202
LUMENTUM HLDGS 1.5% CB	557	741	114,757
HYNIX 1.75% CB	200	383	59,279
XERO 1.625% CB	400	480	74,396
小 計	額 面 ・ 金 額	38,542	42,704
	銘柄数<比率>	50	—
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
ZALANDO 0.05% A CB	400	392	63,388
LUFTHANSA 2% LHA CB	300	298	48,196
MTU AERO 0.05% MTX CB	300	314	50,803
SPIE SA 2% CB	400	448	72,321
LEG IMMO 1% CB	800	800	129,158
TUI AG 1.95% CB	600	693	111,869
小 計	額 面 ・ 金 額	2,800	2,948
	銘柄数<比率>	6	—
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円
BNP PARIBAS 0% . CB	600	769	124,111
ACCOR SA 0.7% CB	1,034	1,238	199,775
SAFRAN 0% SAF CB	1,597	2,126	343,064
SCHNEIDER ELE1.97%SUFPB	1,300	1,659	267,737
小 計	額 面 ・ 金 額	4,531	5,793
	銘柄数<比率>	4	—

銘 柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額
(ユーロ・・・その他)	千ユーロ	千ユーロ	千円
AMADEUS IT 1.5% CB	200	262	42,390
GBL 2.125% EB	800	790	127,601
PIRELLI & C SPA 0% CB	700	741	119,679
IBERDROLA 0.8% IBE CB	900	1,006	162,428
CITIGROUPGLOBAL0%GMTN EB	1,600	1,648	265,958
INTL AIR 1.125% IAG CB	200	256	41,408
CELLNEX 0.5% CLNX CB	800	842	135,849
CAMPARI MILANO 2.375% CB	500	473	76,385
ANLLIAN CAPITAL 2 0% CB	300	319	51,552
小 計	額 面 ・ 金 額	6,000	6,342
	銘柄数<比率>	9	—
ユーロ計	額 面 ・ 金 額	13,331	15,084
	銘柄数<比率>	19	—
(香港)	千香港ドル	千香港ドル	千円
ZHONGSHENG 0% CB	4,000	4,616	91,682
CITIGROUPGLOBAL0%1299 EB	8,000	7,646	151,849
小 計	額 面 ・ 金 額	12,000	12,262
	銘柄数<比率>	2	—

銘 柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額
(シンガポール)	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円
SINGAPORE AIR 1.625 CB	500	644	73,943
小 計	額 面 ・ 金 額	500	644
	銘柄数<比率>	1	—
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—
	銘柄数<比率>	72	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) ()内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。ただし、ユーロの場合は当該有価証券の発行地または取引市場の国または地域名を記載しております。うち、ユーロ圏以外の発行地または取引市場の国または地域名については、「ユーロ・・・その他」の欄に記載しております。

優先証券

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
			証券数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)		百証券	百証券	千米ドル	千円	公益事業
NEXTERA ENERGY 6.926% PFD		513	212	873	135,127	
合 計	証 券 数 ・ 金 額	513	212	873	135,127	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	－	<1.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の< >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 証券数・評価額の単位未満は切捨てです。
(注) 証券数に一印がある場合は組入れなしを表します。
(注) ()内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。

○投資信託財産の構成

(2025年1月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	10,637,763	95.2
優先証券	135,127	1.2
コール・ローン等、その他	397,366	3.6
投資信託財産総額	11,170,256	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) 当期末における外貨建純資産(9,837,318千円)の投資信託財産総額(11,170,256千円)に対する比率は88.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル＝154.76円、1ユーロ＝161.34円、1英ポンド＝192.71円、1スイスフラン＝170.76円、1スウェーデンクローネ＝14.08円、1ノルウェークローネ＝13.72円、1オーストラリアドル＝96.52円、1香港ドル＝19.86円、1シンガポールドル＝114.66円、1南アフリカランド＝8.34円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年1月30日現在)

○損益の状況

(2024年1月31日～2025年1月30日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,232,695,427
コール・ローン等	379,217,169
公社債(評価額)	10,637,763,351
優先証券(評価額)	135,127,474
未収入金	62,643,998
未収利息	14,383,331
前払費用	3,560,104
(B) 負債	83,568,377
未払金	62,438,655
未払解約金	21,129,722
(C) 純資産総額(A－B)	11,149,127,050
元本	2,263,583,849
次期繰越損益金	8,885,543,201
(D) 受益権総口数	2,263,583,849口
1万口当たり基準価額(C／D)	49,254円

<注記事項>

期首元本額	2,830,124,740円
期中追加設定元本額	251,660,462円
期中一部解約元本額	818,201,353円

元本の内訳

JPMワールド・CB・オープン	2,263,583,849円
-----------------	----------------

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	102,949,065
受取配当金	24,228,510
受取利息	78,528,745
その他収益金	216,800
支払利息	△ 24,990
(B) 有価証券売買損益	1,015,309,706
売買益	1,519,045,176
売買損	△ 503,735,470
(C) その他費用等	△ 8,075,808
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	1,110,182,963
(E) 前期繰越損益金	9,951,621,628
(F) 追加信託差損益金	903,812,743
(G) 解約差損益金	△3,080,074,133
(H) 計(D＋E＋F＋G)	8,885,543,201
次期繰越損益金(H)	8,885,543,201

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。